

基本目標 4

健やかな心と体を育み未来を拓く

まちをつくる

《教育・文化》

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	104
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	きらり輝く印西の子供育成事業			
	担当部署名	教育部指導課 指導班			
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画	○	
	予算事業名	きらり輝く印西の子供育成事業 (子供の学び支援事業・特色ある教育活動推進事業・小学校駅伝競走大会)	主要事業	○	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。			
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	印西教育のさらなる特色を打ち出しながら、子供達の健やかな成長を目指し、各事業を展開する。			
	対 象	各小中学校			
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画			
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・子供の学び支援事業の実施 ・特色ある教育活動推進事業(海外交流等)の実施 ・小学校駅伝競走大会の開催		・子どもの学び支援事業「ものづくり体験」では、6つの小学校より6年生が210名参加。各専門分野の職人から直接その技術を学ぶことができ、大きな成果を上げることができた。 ・小学校駅伝競走大会では、小学校21校、合計68チーム、児童420名(男子35チーム217名、女子33チーム203名)の参加をもって、盛大に開催することができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					2,501,000	2,501,000
		予算現額					2,501,000	2,501,000
		決算額					2,091,518	2,091,518

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	ものづくり体験実施校(年間)	校	目標値	2	4	6	8
			実績値	2	4	4	6
	特色ある教育活動実践校の指定校数	校	目標値	9	9	9	9
			実績値	9	9	9	9
	小学校駅伝競走大会の開催数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
成果指標	ものづくり体験実施校(累計)	校	目標値	20	20	20	20
			実績値	6	10	14	21
	特色ある教育活動実践校の指定校数	校	目標値	9	9	9	9
			実績値	9	9	9	9
	小学校駅伝競走大会の参加校	校	目標値	20	20	20	20
			実績値	20	20	20	21

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	子ども達の健やかな成長を目指して、事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	105
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	読書活動推進事業	
	担当部署名	教育部指導課 教育センター	
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画 ○
	予算事業名	非常勤職員に要する経費、教育情報収集・活用事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。	
事業内容等	事業年度	平成19年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	専門的な知識をもった学校図書館司書の配置、学校図書館の蔵書のデータベース化を行うことにより、生徒が使いやすい読書意欲を喚起する環境整備、円滑な貸出・返却作業、効率的な図書検索、生徒個々への読書相談等の充実を図る。	
	対 象	市内小中学生	
	根拠法令・関連計画 等	印西市子ども読書推進計画(平成20年度より) 印西市子ども読書推進計画(第2次)	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	市内全小中学校へ司書を配置 (2～3校兼務) ・図書室の環境整備 ・読書指導 ・学習支援等 ・学校間貸出	市内全中学校9校と小学校2校を拠点校として11名の司書を配置し、他の小学校14校へも週1回ずつ派遣した。図書館担当教員との連携により、図書室の環境整備・読書指導・学習支援等の業務を行い、図書館利用率の向上や貸出数の増加、市立図書館からの団体貸出数の増加など、児童生徒の読書活動の充実が図られた。また、学校図書館システムによる蔵書の管理や検索、学校間貸出等を行うことにより、読書活動の充実や学習での図書の活用が図られている。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					28,083,000	28,083,000
		予算現額					28,083,000	28,083,000
		決算額					27,827,760	27,827,760

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	司書の配置人数	人	目標値	9	15	15	15
			実績値	9	10	11	11
			目標値				
			実績値				
成果指標	貸し出し冊数の増加率(前年度と比較して)	%	目標値	5	5	5	5
			実績値	30	21	23	26
	読書を好む児童生徒の増加率(前年度と比較して)	%	目標値	5	5	5	5
			実績値	1	1	1	1
	学校図書館利用の増加率(前年度と比較して)	%	目標値	5	5	5	5
			実績値	48	9	9	1

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	配置人数が目標を下回っているが、現状の人数で拠点校方式で受け持ち、活動は充実している。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	貸し出し冊数は増加しており、成果が上がっている。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	106
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校給食事業		
	担当部署名	教育部指導課		
	款項目及び予算名	9款6項3目 学校給食費	新市基本計画	○
	予算事業名	学校給食センター事業、学校給食事務費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	児童・生徒が望ましい食習慣を身につけ、食を通して心身の健全な発達が図れるよう、栄養バランスと衛生面に配慮した安全・安心でおいしい学校給食を提供していきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	児童・生徒に対し望ましい食習慣の形成に努めるとともに、食を通じて好ましい人間関係を育成するため、学校給食の充実を図る。		
	対 象	市内小中学校の児童・生徒		
	根拠法令・関連計画 等	学校給食法、同法施行令、同法施行規則		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・学校給食の充実 ・施設・設備の充実	・学校給食数190回の提供 ・食器洗浄機、真空冷却機蒸気配管等の老朽化した設備の修繕や工事を行い、安全安心な給食の提供に努めた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					12,051,000	12,051,000
		予算現額					22,506,161	22,506,161
		決算額					22,071,837	22,071,837

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	学校給食センターの運営及び施設改修について内部検討会議の実施	回	目標値	10	5	5	5
			実績値	5	6	3	3
	計画に基づく修繕実施	式	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
			目標値				
			実績値				
成果指標	学校給食センター修繕に関する計画策定	式	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
	計画に基づく修繕実施	式	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標5回としていましたが、検討など議題も随時多くなかったため3回の開催となった。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	学校給食数190回を維持するため、経年劣化した施設設備を計画的に整備を行い安全な給食を安定的に提供するよう努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	107
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校保健事業		
	担当部署名	教育部指導課 指導班		
	款項目及び予算名	9款6項1目 保健体育総務費	新市基本計画	
	予算事業名	学校保健事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	児童生徒及び学校職員の健康状態を把握し、健康の保持増進を図るため、定期健康診断等を実施する。		
	対 象	市内幼小中学校の児童生徒		
	根拠法令・関連計画 等	学校保健安全法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	内科検診、歯科検診、耳鼻科検診、眼科検診、小児生活習慣病予防検診、結核検診、脊柱側弯症検診、尿・蛭虫卵検査等	学校保健安全法に基づき、児童生徒及び教職員の定期健康診断、保健指導等を実施した。健康状態の把握、保健指導の充実により、健康の保持増進を図ることができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					55,723,000	55,723,000
		予算現額					54,098,008	54,098,008
		決算額					53,240,663	53,240,663

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	各種検討会の実施数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
	定期健康診断の実施校数	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	29
			目標値				
			実績値				
成果指標	各種検討会の実施率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
	定期健康診断の受診率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	99	98	99	100
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後とも計画どおり実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	108
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校環境衛生事業			
	担当部署名	教育部指導課 指導班			
	款項目及び予算名	9款6項1目 保健体育総務費	新市基本計画		
	予算事業名	学校環境衛生事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。			
事業内容等	事業年度				
	事業の実施目的及び概要	児童生徒等が安全で快適な学校生活を送れるよう、各種検査・点検を行い学校環境の改善に努める。			
	対 象	学校環境衛生の基準			
	根拠法令・関連計画 等	学校保健安全法			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・プール水質検査 ・飲料水水質検査 ・照度照明検査 ・空気検査 (二酸化炭素、二酸化窒素、ホルムアルデヒド) ・ダニアレルゲン検査	児童生徒の学校環境を整えるため、学校保健安全法の学校環境衛生の基準に基づき、各小中学校において各種検査(照度照明検査、空気検査等)を実施した。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					138,000	138,000
		予算現額					142,992	142,992
		決算額					142,992	142,992

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	環境検査実施校数	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	29
			目標値				
			実績値				
成果指標	環境検査を実施したことにより、学校環境の改善になった割合	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	80	80	80	80
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後とも計画どおり実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	109
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	芸術文化体験事業		
	担当部署名	教育部指導課 指導班		
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画	
	予算事業名	小中学校芸術文化体験事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	多くの人との関わりを通して、豊かな心を育成するとともに、芸術文化を体験する学習を通して豊かな情操を養います。		
	対 象	市内小中学校		
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	芸術文化体験事業の実施 ・さわやかハートフルコンサート ・小学校芸術鑑賞教室(6年生)	市内の全小中学校で、情操教育の一環として芸術文化の体験学習を実施した。さわやかハートフルコンサートは、小学校は5年生を中心に21校、中学校は各校の代表学級と吹奏楽部の9校の参加(参加総数1974名)で実施した。また、小学校芸術鑑賞教室は6年生(参加898名)を対象に実施した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					5,784,000	5,784,000
		予算現額					5,784,000	5,784,000
		決算額					3,792,016	3,792,016

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	芸術文化体験実施校	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	30
			目標値				
			実績値				
成果指標	芸術文化体験参加数	人	目標値	2,830	2,830	2,830	2,850
			実績値	2,860	3,040	2,795	2,872
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も計画どおり実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	110
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	幼児教育の充実	
	担当部署名	教育部学務課 学務班	
	款項目及び予算名	9款4項1目 幼稚園費	新市基本計画
	予算事業名	幼稚園管理運営に要する経費、幼稚園施設管理に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。	
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	人間形成の基礎が培われる極めて重要な幼児期に、幼稚園において、幼児一人ひとりの望ましい発達を促すため、家庭と十分な連携をし、幼児教育の充実を図る。	
	対 象	市内に住所を有する3歳児、4歳児及び5歳児	
	根拠法令・関連計画 等	教育基本法、学校教育法、印西市立幼稚園設置条例、印西市立幼稚園管理規則、印西市教育振興基本計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・家庭との連携による幼児教育の充実 ・大森、瀬戸、もとの幼稚園の管理運営	幼稚園事業の運営上必要となる園舎や備品類の維持補修及び、経年劣化した備品を更新した。また、教員の指導力の向上を図るために、外部から講師を招聘し、研修会を実施した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				18,618,000	31,078,000	49,696,000
		予算現額				18,618,000	40,950,656	59,568,656
		決算額				14,980,879	34,697,253	49,678,132

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	幼稚園教員の研修参加要請	回	目標値	5	2	2	2
			実績値	7	3	3	3
			目標値				
			実績値				
成果指標	幼稚園教員の研修参加者数	人	目標値	35	16	16	16
			実績値	41	30	50	50
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	幼稚園事業の運営上必要となる施設・設備の充実とともに、研修会等を実施し教員の指導力の向上を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	111
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	就園奨励事業	
	担当部署名	健康福祉部保育課 管理班	
	款項目及び予算名	9款4項1目 就園奨励事業費	新市基本計画
	予算事業名	就園奨励事業(国庫)、就園奨励事業(市単)	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 健やかな心と体を育む教育の推進	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	児童・生徒が健やかに心と体を育んでいけるよう、個性や能力を伸ばす教育や豊かな心を育む教育を推進していくとともに、適切な保健衛生の管理や指導を進め、たくましく心豊かな人間形成と生きる力を育成していきます。また、幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりの望ましい発達を促進していきます。	
事業内容等	事業年度	昭和59年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	私立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、所得に応じ補助金を交付する。	
	対 象	私立幼稚園に就園している満3・3・4・5歳児の園児の保護者	
	根拠法令・関連計画 等	・印西市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱 ・印西市私立幼稚園園児保護者補助金交付要綱	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・就園奨励費(国庫)の援助(所得に応じ保育料を減免した、施設型給付を受けない幼稚園の設置者に交付) ・就園奨励費(市単)の援助(6か月以上在住・在園した園児の保護者に一律に交付)	印西市に在住している児童が在園している私立幼稚園の設置者に対し、補助金を交付することにより保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の推進を図ることができた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	精算額 (当初予算額)	48,561,000	0			127,310,000	175,871,000
		予算現額	38,605,000	598,000			146,771,000	185,974,000
		決算額	44,571,181	504,383			136,676,856	181,752,420

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	保育料減免調書の配布(国庫)	人	目標値	1,490	1,510	1,543	1,588
			実績値	1,500	1,564	1,557	1,576
	保育料減免調書の配布(市単)	人	目標値	1,490	1,510	1,543	1,588
			実績値	1,500	1,564	1,557	1,542
			目標値				
			実績値				
成果指標	各幼稚園への補助金交付、幼稚園より保護者へ補助金を配分(国庫)	人	目標値	948	954	979	1,008
			実績値	910	932	1,153	1,162
	各幼稚園への補助金交付、幼稚園より保護者へ補助金を配分(市単)	人	目標値	1,490	1,510	1,543	1,008
			実績値	1,483	1,529	1,522	1,542
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も計画的に補助を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要				事業番号	112
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学習指導の充実			
	担当部署名	教育部指導課 指導班			
	款項目及び予算名	9款2・3項2目 教育振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	学習指導の充実	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。			
事業内容等	事業年度				
	事業の実施目的及び概要	児童生徒の学力・体力・社会性の育成及び生き方に関する自覚を高めるため、学校ごとに学習テーマを設定し、きめ細かな指導やさまざまな体験活動の導入、外部人材の活用を図るなど、独自のカリキュラムを作成し、実践研究を推進する。			
	対 象	各小・中学校			
	根拠法令・関連計画 等	平成24年度印西の教育施策、印西市教育振興基本計画			
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・学力向上・健康体育向上 ・特色ある学校づくりの推進 ・教育に関する調査、研究 ・教育情報の収集・活用 ・教職員研修の実施		指導主事を積極的に学校に派遣し、指導にあたった。また特色ある学校づくり推進のため、推進校の研究指定を行なった。その結果、児童生徒の学力・社会性の向上を図ることができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					13,039,000	13,039,000
		予算現額					13,039,000	13,039,000
		決算額					11,322,438	11,322,438

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	指導主事等要請訪問数	回	目標値	900	900	900	950
			実績値	884	860	854	937
	外部人材の活用校数	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	29
			目標値				
			実績値				
成果指標	指導主事等要請訪問数	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	98	96	96	98
	外部人材の活用校数	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	29
	校内研修会実施校数	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	30

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	現行どおり継続して実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	113
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	適応指導教室事業			
	担当部署名	教育部指導課 教育センター			
	款項目及び予算名	9款1項4目 教育センター費	新市基本計画	○	
	予算事業名	適応指導教室事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育んでいく活力ある学校づくりを進めていきます。			
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	様々な理由で学校に行きたくも行けない状態にある市内の不登校児童生徒に対して、適応指導教室(教育センター)において、学習の支援や体験活動を行い、当該学校や社会への復帰及び進路に向けての支援を行う。			
	対 象	各小・中学校			
	根拠法令・関連計画 等	平成24年度印西の教育施策			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・不登校児童生徒に対する学習支援 ・少人数での体験活動支援 ・児童生徒及び保護者に対する教育相談 上記支援等を3室(教育センター、印旛公民館、本埜公民館)にて行う。	○ 適応指導教室に平成27年度通室した児童生徒は18名(小学生3名、中学生15名)いた。年度内に1名が完全復帰し、7名が部分復帰することができた。 ○ 月1回開催している保護者会「緑のまきばであったまる会」では、毎回1～3名程の不登校の子を持つ保護者が参加し、思いを語り合うことができた。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					245,000	245,000
		予算現額					245,000	245,000
		決算額					163,224	163,224

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	適応指導教室の開設日数	日	目標値	200	200	200	200
			実績値	196	210	195	192
	保護者会開催	回	目標値	11	11	11	11
			実績値	11	11	11	11
			目標値				
			実績値				
成果指標	在籍校復帰人数(部分復帰含む)	%	目標値	50	50	50	50
			実績値	40	50	68	44

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	成果が上がってきているので、継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要				事業番号	114
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	教育相談事業			
	担当部署名	教育部指導課 教育センター			
	款項目及び予算名	9款1項4目 教育センター費	新市基本計画	○	
	予算事業名	教育相談事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもたちの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。			
事業内容等	事業年度	平成5年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	教育に関する保護者・児童・生徒・教職員の様々な悩みに応えるため、教育センターにおいて電話・面談相談を実施し、問題の解決を図る。			
	対 象	一般市民（教育に関する悩みを持った、保護者・家族・児童生徒）			
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育センターの設置及び管理に関する条例			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・電話相談の実施 (常時1名配置) ・適応指導教室への支援 ・福祉関係の行政機関との連携	面談件数は99件電話相談件数90件あり、そのうち「子ども相談室」は22件であった。教育相談員とセンター指導主事が対応しており、来談する方にとって安心感のある場となっている。学校心理士である相談員は、学校からの依頼が多く、学校訪問や面談を実施してきた。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					343,000	343,000
		予算現額					343,000	343,000
		決算額					319,539	319,539

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	相談開設日数	日	目標値	240	240	240	240
			実績値	240	244	244	241
			目標値				
			実績値				
成果指標	相談件数	件	目標値	100	100	100	100
			実績値	437	261	213	199
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	実績をあげているので、継続して実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	115
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	就学援助事業	
	担当部署名	教育部学務課 学務班	
	款項目及び予算名	9款2・3項2目 教育振興費	新市基本計画
	予算事業名	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業、特別支援教育就学奨励事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもたちの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成22年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒に対し就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。	
	対 象	要保護及び準要保護児童生徒・特別支援学級に在籍している児童生徒	
	根拠法令・関連計画 等	教育基本法 学校教育法 印西市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給規則	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	就学援助の実施	・要保護及び準要保護の認定基準を変更したことにより、認定件数が大幅に増加した。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒への支給。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	2,806,000				33,886,000	36,692,000
		予算現額	2,806,000				33,886,000	36,692,000
		決算額	2,113,000				28,832,303	30,945,303

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	要保護・準要保護の相談・申請件数	件	目標値	108	120	120	120
			実績値	118	75	73	309
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
成果指標	要保護・準要保護の認定件数	件	目標値	66	80	80	80
			実績値	70	74	52	302
	援助費の決定・学期ごと支給件数	件	目標値	224	240	240	240
			実績値	288	257	282	285
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒及び障害を持つ児童生徒に対し就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	116
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校問題対策指導員に要する経費	
	担当部署名	教育部指導課 指導班	
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画
	予算事業名	学校問題対策指導員に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	次代を担う印西の子どものための確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成27年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	学校教育法の改正や、学校安全計画作成等を義務付けた学校保健安全法の改正、また児童虐待防止法や食育基本法の改正が行われ、推進すべき教育課題が山積しており、教育の内容は多岐にわたっている。さらに、昨年度いじめ防止対策推進法が施行され、学校現場におけるいじめ対策を見直し、一層のきめ細かな対応が義務づけられた。また、保護者の様々な要望に応え、丁寧な対応を図りつつ教育活動に当たることが肝要である。これらの状況を踏まえ、今まで以上に学校への支援を行い、学校教育上の問題を迅速かつ適切に解決していくための対策を、学校と共に講じるため、学校問題対策指導員を設置する。	
	対 象	印西市内各小・中学校及び学校職員	
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育委員会行政組織規則(昭和41年教育委員会規則第1号)第25条	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	- いじめ防止対策の支援 - 不登校対策の支援 - 児童虐待防止対策の支援 - 保護者等対応の支援 - 教育相談・適応指導に関わる支援 - 教職員等の教育実践上の相談への対応 - 教育センター事業への支援	- いじめ防止対策委員会への出席 - 学校訪問および来所による管理職への相談支援 (教育実践上の相談、保護者等対応 等) - 教育相談・適応指導に関わる支援 (不登校対策、適応指導教室の運営 等) - 教育センター事業への支援 (印西漢字マスター(漢字級別認定テスト)・ILM(暗算力認定テスト)の成績処理 等)

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,440,000	1,440,000
		予算現額					1,440,000	1,440,000
		決算額					1,440,000	1,440,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	勤務日一日当たりの対応事例数	件	目標値				1
			実績値				1
	一人当たりの年間の対応学校数	校	目標値				10
			実績値				18
			目標値				
			実績値				
成果指標	関わった学校アンケートでのプラス評価	%	目標値				80
			実績値				83
	事例改善率(事後調査の結果)	%	目標値				50
			実績値				84
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	想定していた以上に学校からの依頼が多く、継続していく必要性を強く感じたため。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	117
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	国際理解教育推進事業		
	担当部署名	教育部指導課 指導班		
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画	○
	予算事業名	国際理解教育推進事業	主要事業	○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 2 活力ある学校づくり 4 - 2 多文化共生社会づくりの推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	4 - 2 活力ある学校づくり 次代を担う印西の子どもたちの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していく。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育んでいける活力ある学校づくりを進めていく。 4 - 2 多文化共生社会づくりの推進 すべての市民が多様な文化や価値観を受け入れ、互いに理解し合いながら、国籍や文化の違いを越えて安心して暮らしていけるまちづくりを進めていくとともに、国際理解教育の推進などにより多文化共生意識を醸成させていく。		
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手を配置し、中学校において生きた英語コミュニケーション能力の育成を行うとともに、小学校においても英語活動等を行っていく。平成23年度からの小学校における英語教育(外国語活動)が必修化となり、外国語指導助手の存在がより重要なものとなった。懸案事項として、平成27年度新設小学校の開校、ニュータウン地域の急激な人口増加による学級数の増加、2020年の英語教育に対応すべき教育課程編成に伴う各学校からの外国語指導助手の訪問要請回数の増加、加えて幼稚園への配置がある。中学校では1中学校常勤1名(9中学校9名)を、小学校では小学校専任7名(21小学校7名)とし、現在の10名から16名の外国語指導助手の配置により、英語教育活動・国際理解教育を推進する。		
	対 象	市内幼稚園児、小学校児童、中学校生徒		
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・外国語指導助手の配置	11名の外国人英語講師を各中学校区に1名(2名は小学校のみ)ずつ派遣し、国際理解教育の推進及び児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることができた。また幼稚園にも月1回派遣し、交流を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				53,000	48,352,000	48,405,000
		予算現額				53,000	48,354,470	48,407,470
		決算額				3,360	48,389,159	48,392,519

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	小学校への派遣日数(10名)	日	目標値	780	780	780	780
			実績値	795	770	928	1,059
	中学校への派遣日数(10名)	日	目標値	1,190	1,190	1,190	1,190
			実績値	1,012	1,104	1,118	1,103
	(市立)幼稚園への派遣日数	日	目標値	33	33	33	33
			実績値	31	31	30	30
成果指標	授業総時数	時間	目標値	8,770	8,770	8,770	8,770
			実績値	8,536	8,577	8,903	9,693
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	ほぼ目標値どおりで事業が行われている。今後、規模が大きくなる学校が増えてくことを考えると、外国語指導助手(ALT)の数を増やす必要があると見込まれる。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	118
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校教育の情報化推進事業			
	担当部署名	教育部学務課 学務班			
	款項目及び予算名	9款2・3項2目 教育振興費、9款1項4目 教育センター費	新市基本計画		
	予算事業名	教材整備に要する経費、教育情報収集・活用事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもたちの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。			
事業内容等	事業年度	平成19年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	教職員・児童・生徒の「情報活用能力の育成」「確かな学力の育成」を図るために、学校の情報環境の整備を行う。 併せて、学校における情報セキュリティを高め、校務の情報化を進めていく。			
	対 象	市内小中学校			
	根拠法令・関連計画 等	「IT新改革戦略」(平成18年1月IT戦略本部決定)、第3次印西市情報化計画(平成25年度～)、印西市教育振興基本計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・小中学校における情報処理教材用消耗品やデジタル教科書等の教材備品の購入 ・児童・生徒の情報活用能力を高めるための情報教育の推進及び教職員の情報教育研修の実施	・情報処理教材用消耗品等を購入した。 ・児童生徒の情報活用能力を高めるための情報教育を推進するとともに、教職員の情報教育研修を実施した。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					20,927,000	20,927,000
		予算現額					20,927,000	20,927,000
		決算額					20,689,418	20,689,418

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	整備台数 教育系PC(年度)	台	目標値	0	246	20	210
			実績値	0	246	21	0
	電子黒板 (プロジェクタ+書画カメラ)(年度)	台	目標値	0	0	1	29
			実績値	0	0	0	0
	校務系PC(年度)	台	目標値	0	10	15	600
			実績値	0	10	10	0
成果指標	整備台数教育系PC(累計)	台	目標値	0	246	266	476
			実績値	0	246	267	267
	電子黒板 (プロジェクタ+書画カメラ)(累計)	台	目標値	0	0	1	30
			実績値	0	0	0	0
	校務系PC(累計)	台	目標値	0	10	25	625
			実績値	0	10	10	20

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	・OSサポート終了に合わせて整備していくため。 ・教材用消耗品を整備した。
成果に対する評価	D 目標値を下回る	OSサポート終了に合わせて整備していくため。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	教育情報収集・活用事業は行ったが、今年度はPC整備の年ではなかったため。来年度は整備する年である。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	学校教育の情報化は、情報活用能力や情報モラルの育成など、子どもたちが情報化社会の中で主体的に対応していく能力を養う上で必須であることから、引き続き事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	119
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	特別支援教育事業			
	担当部署名	教育部指導課 指導班			
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画		
	予算事業名	特別支援教育事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。			
事業内容等	事業年度				
	事業の実施目的及び概要	市内小中学校の通常学級に在籍している特別な教育的支援を必要としている児童生徒及び特別支援学級に在籍している心身に障がいをもった児童生徒について、個々のニーズに応じたきめ細かな教育的支援を行うために、通常学級指導員と特別支援学級介助員を配置する。			
	対 象	市内小中学校の通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要としている児童・生徒及び特別支援学級に在籍する児童・生徒			
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・通常学級指導員及び特別支援学級介助員を必要に応じて配置	通常学級指導員35名を配置し、特別に支援を要する児童に対応することができた。介助員35を配置し、障害の特性に応じた支援をすることができた。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					634,000	634,000
		予算現額					634,000	634,000
		決算額					569,849	569,849

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	通常学級指導員の配置人数	人	目標値	25	25	25	25
			実績値	35	35	35	35
	介助員の配置人数	人	目標値	26	26	26	26
			実績値	27	28	37	35
			目標値				
			実績値				
成果指標	通常学級指導員の配置比率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	140	140	140	140
	介助員の配置比率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	103	107	142	134
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	きめ細かな支援のため、継続して配置をしていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	120
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	小中学校施設整備改修事業			
	担当部署名	教育部教育総務課 教育施設班			
	款項目及び予算名	9款2・3項1目 学校管理費	新市基本計画	○	
	予算事業名	小学校施設整備改修事業(一般・基金)、中学校施設整備改修事業(一般・基金)	主要事業	○	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 安全で安心できる教育環境づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えます。また、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくりを推進するとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。			
事業内容等	事業年度	平成16年度～平成28年度			
	事業の実施目的及び概要	学校施設の機能を維持し、長寿命化を図るため改修事業を実施し、学校生活の安全性と快適性を確保する。多様化する教育ニーズに対応した教室の改修工事を実施し、既存の施設の耐久性を向上させ、その有効利用を図る。			
	対 象	市内小中学校			
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画・学校施設改修の考え方及び整備計画			
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・小学校体育館改修工事 ・小学校改修工事設計 ・小学校普通教室空調設備設置工事 ・中学校改修工事等(H27～28継続) ・非構造部材吊り天井等の改修工事		・木下小学校体育館改修工事 ・木刈小学校改修工事設計 ・小学校普通教室空調設備設置工事(小学校14校) ・船穂中学校改修工事(H27～28継続) ・小中学校体育館等改修工事	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	6,000,000			231,600,000	871,980,000	1,109,580,000
		予算現額	100,671,000			0	1,153,774,000	1,254,445,000
		決算額	94,421,000			0	908,839,461	1,003,260,461

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	入札	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	90	100	100
	管理	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	85	100	100
	検査	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	85	100	100
成果指標	計画した学校施設の整備改修の進捗率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	80	85	100	100
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	大規模改修については、良好な学習環境を維持するため、継続的に実施する必要があることから、学校施設改修の考え方及び整備計画(H27.12策定)に基づき、計画的な改修を進めて行く。 また、小中学校普通教室空調設備設置事業については、平成27・28年度の2カ年で整備を行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	121
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校給食センター整備事業			
	担当部署名	教育部教育総務課 学校給食センター整備班			
	款項目及び予算名	9款6項3目 学校給食費	新市基本計画		
	予算事業名	学校給食センター整備事業	主要事業		○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育んでいく活力ある学校づくりを進めていきます。			
事業内容等	事業年度	平成25年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	老朽化した学校給食センター設備を計画的に改修し、安定した学校給食供給体制を整備する。			
	対 象	市内小中学校の児童・生徒			
	根拠法令・関連計画 等	学校給食法、同法施行令、同法施行規則、学校給食センター整備基本計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	牧の原及び印旛学校給食センター調理機器更新等 (仮称)新学校給食センター新築工事	学校給食センター整備基本計画に基づき、事業を実施した。既存の牧の原及び印旛学校給食センターにおいては、老朽化した調理機器の更新を終了し、空調設備、ボイラーの設備改修を行った。また(仮称)新学校給食センターにおいては、設計業務を完了し、平成29年3月工事完了を目指し現在、建設中である。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	64,988,000		584,800,000	634,500,000	147,000	1,284,435,000
		予算現額	0		0	0	710,280,600	710,280,600
		決算額	0		0	0	708,645,568	708,645,568

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	用地交渉	回	目標値			5	0
			実績値			5	0
	設計打合せ	回	目標値			20	8
			実績値			12	8
	協議・打合せ	回	目標値			0	24
			実績値			0	24
成果指標	用地取得率	%	目標値			100	0
			実績値			100	0
	設計進捗率	%	目標値			100	0
			実績値			60	100
	事業の進捗率	%	目標値			0	10
			実績値			0	40

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	学校給食センター整備基本計画に基づき、既存の牧の原及び印旛学校給食センターにおいては、施設の改修整備を進め、(仮称)新学校給食センターにおいては、現在、平成29年3月工事完了を目指し建設中のため、予定どおりに工事を完了させ、平成29年9月から3センターによる給食提供を目指していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	122
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進	
	担当部署名	教育部学務課 学校計画調整班	
	款項目及び予算名	9款1項3目 教育研究指導費	新市基本計画
	予算事業名	学校適正配置審議会に要する経費、学校適正配置に要する経費	主要事業 ○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	次代を担う印西の子どものための確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	児童生徒のより良い教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、学校規模の適正規模・適正配置を推進する。	
	対 象	市内小中学校	
	根拠法令・関連計画 等	学校教育法、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引(文部科学省)	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・学校適正配置審議会の開催 ・学校適正配置に関する基本方針の検討	・学校適正配置審議会に「印西市立小学校及び中学校の適正配置について」を諮問し、平成28年3月に答申を受けた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					360,000	360,000
		予算現額					1,646,000	1,646,000
		決算額					1,514,700	1,514,700

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	学校の適正規模・適正配置に関する検討		目標値				
			実績値			実施	実施
	印西市学校適正配置審議会の開催	回	目標値				8
			実績値				8
			目標値				
			実績値				
成果指標	学校の適正規模に関する方針の策定		目標値			策定	
			実績値			策定	
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校適正配置審議会に「印西市立小学校及び中学校の適正配置について」を諮問し、平成28年3月に答申を受けた。
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	学校適正配置審議会を概ね当初の予定どおり開催し、答申を受けることができた。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	学校適正配置審議会のからの答申を踏まえ、学校の適正配置に関する基本方針を策定し、保護者及び地域住民等への説明会等を開催する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	123
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	児童用机・椅子の計画的な更新	
	担当部署名	教育部学務課 学務班	
	款項目及び予算名	9款2・3項1目 学校管理費	新市基本計画
	予算事業名	小学校管理運営に要する経費、中学校管理運営に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 活力ある学校づくり	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	次代を担う印西の子どもたちの確かな学力を育むため、教職員の指導力の向上を図っていくとともに、学校施設の計画的な整備や改修など良好な教育環境を確保していきます。また、子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じてきめ細かな指導や支援を行うとともに、情報化・国際化社会の中で生きる能力を育ていける活力ある学校づくりを進めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成27年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	小中学校で使用する学習用机・椅子の老朽化に伴い、児童・生徒の体格の変化や教科書の大型化などに対応した新JIS規格の机・椅子への計画的な更新を行う。	
	対 象	市内小中学校	
	根拠法令・関連計画 等		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	学習用机・椅子の更新	・学習用机・椅子を計画的に更新した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				26,000,000	0	26,000,000
		予算現額				0	26,000,000	26,000,000
		決算額				0	24,312,960	24,312,960

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	机・椅子の更新台数	セット	目標値				1,000
			実績値				1,120
			目標値				
			実績値				
成果指標	机・椅子の整備率	%	目標値				11
			実績値				25
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	小中学校で使用している学習用机・椅子の老朽化に伴い、児童・生徒の体格の変化や教科書の大型化などに対応した新JIS規格の机・椅子への計画的な更新を行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1.事業の概要			事業番号	124
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	学校安全事業		
	担当部署名	教育部指導課 指導班		
	款項目及び予算名	9款6項1目 保健体育総務費	新市基本計画	○
	予算事業名	学校安全事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 3 学校・家庭・地域の連携強化	スマイルプラン	
	施策の方向性	子どもたちが安全で安心な生活を送り健やかに成長できるよう、家庭や地域の教育力の向上を図り、学校、家庭、地域の連携を強化していきます。また、積極的な学校情報の提供や地域の持つ教育力の活用により、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成16年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	児童生徒が自らの安全を確保できるよう、交通安全教室や防犯教室を開催する。 また、不審者から身を守るために、防犯ブザーの貸与及び安全マップを配付するとともに、メール配信システムを活用し、リアルタイムに保護者に防犯情報を伝えていく。		
	対 象	小学生(6歳～12歳) 中学生(13歳～15歳)		
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・防犯ブザーの貸与(小1) ・安全マップの配付(小1・転入児童) ・防犯パンフレットの配付(小1) ・防犯教室の開催(小1・中2) ・交通安全教室の開催 ・スクールメール(学校防犯メール)	・防犯ブザーの貸与(小1)と安全マップの配付(小1・転入児童)を防犯パンフレットの配付(小1)を4月上旬に行った。 ・防犯教室(市立幼稚園・小1・中2)を33校で実施した。 ・交通安全教室を市内小・中学校30校で実施した。 ・スクールメール(学校防犯メール)登録率が年々上がってきている。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,154,000	1,154,000
		予算現額					1,154,000	1,154,000
		決算額					1,066,392	1,066,392

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	防犯教室の実施校数(市立幼稚園を含む)	校	目標値	32	32	32	32
			実績値	32	32	32	33
	安全マップの配布校数(小学校)	校	目標値	20	20	20	20
			実績値	20	20	20	20
	防犯ブザーの貸与校数	校	目標値	20	20	20	20
			実績値	20	20	20	21
成果指標	登下校時における不審者の発生件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	9	6	7	8
	防犯活動(PTA見回り等)	校	目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	30
	メール配信システムの登録率	%	目標値	86	89	91	93
			実績値	90	94	95	95

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	事業の計画がほぼ目標値どおりであるので、継続して取り組んでいきたい。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	125
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	開かれた学校教育の推進	
	担当部署名	教育部指導課 指導班	
	款項目及び予算名	9款1項4目 教育センター費	新市基本計画
	予算事業名	教育情報収集・活用事業(ホームページサーバー利用料)	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 3 学校・家庭・地域の連携強化	スマイルプラン
	施策の方向性	子供たちが安全で安心な生活を送り健やかに成長できるよう、家庭や地域の教育力の向上を図り、学校・家庭・地域の連携を強化していきます。また、積極的な学校情報の提供や地域の持つ教育力の活用により、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。	
事業内容等	事業年度		
	事業の実施目的及び概要	学校だよりや学校ホームページなどにより、学校の運営方針や評価、日常の教育活動の状況といった情報を、保護者や市民に積極的に提供し、学校・家庭・地域の連携強化を図る。	
	対 象	市民・保護者	
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	【市内小中学校で実施】 ・学校だよりの発行 ・学校ホームページの充実	印西市内では、すべての小・中学校が、地域住民や保護者からの連携を深めるためホームページを作成して、積極的な情報発信を行っている。毎年、ホームページの周知が広まり、アクセス数はさらに伸びている。 各学校ごとに「学校だより」を発行して、学校教育への理解を得る上で役立っている。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					144,720	144,720
		予算現額					144,720	144,720
		決算額					144,720	144,720

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	学校だより発行数		目標値	29	29	29	29
			実績値	29	29	29	30
	学校ホームページ更新数		目標値	200	200	200	200
			実績値	200	300	250	250
			目標値				
			実績値				
成果指標	学校ホームページ閲覧数		目標値	5,000	6,000	7,000	10,000
			実績値	21,900	51,600	54,500	60,000
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ目標値どおりである	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後さらに学校・家庭・地域との連携を強化して、情報を発信していきたい。そのためにホームページのさらなる活用を促す。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	126
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	職場体験学習の推進		
	担当部署名	教育部指導課 指導班		
	款項目及び予算名	9款3項2目 教育振興費	新市基本計画	
	予算事業名	職業体験事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 3 学校・家庭・地域の連携強化	スマイルプラン	
	施策の方向性	子どもたちが安全で安心な生活を送り健やかに成長できるよう、家庭や地域の教育力の向上を図り、学校、家庭、地域の連携を強化していきます。また、積極的な学校情報の提供や地域の持つ教育力の活用により、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	職場体験学習を実施し、地域の教育力を積極的に活用し、人との関わりや交流を通して生きる力を育てる。		
	対 象	市内小中学校		
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	「印西市生き生き体験」の実施(全中学校2年) (予算有)	実際に仕事をしている人と接し、また自分自身も体験することで働くことの意義や意欲を育む事ができた、また体験をする中で自己の個性や適性を把握し自己理解を深め、自身の進路の考えを深めることができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					151,000	151,000
		予算現額					151,000	151,000
		決算額					123,612	123,612

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	実施中学校	校	目標値	9	9	9	9
			実績値	9	9	9	9
			目標値				
			実績値				
成果指標	参加率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も継続して実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	127
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	生涯学習情報の充実	
	担当部署名	教育部生涯学習課 生涯学習推進班	
	款項目及び予算名	9款5項1目 社会教育総務費	新市基本計画 ○
	予算事業名	生涯学習推進事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 生涯学習活動の支援	スマイルプラン
	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、その成果を豊かな地域づくりに活かしていけるよう生涯学習情報を充実させていくとともに、多様な学習機会を提供し、市民主体の生涯学習活動を支援していきます。	
事業内容等	事業年度	平成16年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	市民が様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努めるとともに、生涯学習ガイドやホームページなど情報提供の充実を図る。	
	対 象	全市民	
	根拠法令・関連計画 等	第二次印西市生涯学習まちづくり推進計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師・指導者情報の充実	生涯学習ガイドを300部発行した。 ホームページに掲載し、情報提供に努めた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					243,000	243,000
		予算現額					243,000	243,000
		決算額					223,560	223,560

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	生涯学習ガイドの発行部数	冊	目標値	150	150	150	150
			実績値	150	300	300	300
			目標値				
			実績値				
成果指標	生涯学習ガイドの掲載情報数	事業・講座	目標値	300	300	300	300
			実績値	321	321	343	341
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き充実した情報の提供に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	128
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	生涯学習機会の拡充		
	担当部署名	教育部生涯学習課 生涯学習推進班		
	款項目及び予算名	9款5項1目 社会教育総務費	新市基本計画	○
	予算事業名	生涯学習推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 生涯学習活動の支援	スマイルプラン	
	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、その成果を豊かな地域づくりに活かしていけるよう生涯学習情報を充実させていくとともに、多様な学習機会を提供し、市民主体の生涯学習活動を支援していきます。		
事業内容等	事業年度	平成16年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	多様化・高度化する市民の生涯学習に対するニーズに応じて、市民の学習機会の拡充を図るため、学習場所の提供や印西市民アカデミー・出前講座を実施していく。		
	対 象	全市民		
	根拠法令・関連計画 等	第二次印西市生涯学習まちづくり推進計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・出前講座の実施 ・印西市民アカデミーの実施	出前講座：回覧により、市民への周知に努めた。結果として、年間93件開催され、2,134人の利用があった。 市民アカデミー：1年生28人、年間25回、2年生19人、年間18回、地域活動課程9人、年間9回実施した。アカデミーの内容充実のための担当者会議を開催し協議を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					314,000	314,000
		予算現額					314,000	314,000
		決算額					262,037	262,037

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	出前講座講座数	講座	目標値	72	74	76	78
			実績値	71	68	67	67
	印西市民アカデミー開催数	回	目標値	43	43	43	43
			実績値	43	43	51	52
			目標値				
			実績値				
成果指標	出前講座利用回数	回	目標値	50	50	50	50
			実績値	67	68	79	92
	出前講座利用人数	人	目標値	700	700	700	700
			実績値	1,236	1,264	2,011	2,134
	印西市民アカデミー参加人数	人	目標値	30	30	30	30
			実績値	46	42	59	56

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き市民ニーズに対応した講座を実施し、内容の充実に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	129
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	文化ホール改修事業		
	担当部署名	文化ホール 管理事業班		
	款項目及び予算名	9款5項7目 文化ホール費	新市基本計画	
	予算事業名	文化ホール施設管理に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 生涯学習推進体制の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	「いつでもどこでも誰もが、生涯にわたり」生涯学習活動に取り組めるよう、公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	誰もが快適で安全に生涯学習に取り組めるよう、公民館や図書館等の適正な維持・改修等を進め機能の充実を図ります。		
	対 象	印西市文化ホール・印西市立大森図書館複合施設		
	根拠法令・関連計画 等			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	改修準備作業	今後、どのような方針をもって改修していくべきか、市全体の動向も考えながら判断する事としながらも、来館者の安全な利用を考え、部分的な調査対応も考えていくこととした。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	改修工事の予定件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0
			目標値				
			実績値				
成果指標	改修工事の件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	F 計画なし(当年度活動予定なし)	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	F 未評価(当年度事業未実施)	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	市の具体的な方針が定まらず未実施の状態であったが、今後の市全体の動向を踏まえ、一体的に実施できるよう検討していきたい。 ただし、文化ホールは1年先まで使用の予約が入っているため、改修に入るための使用者との調整もあり、長期的な対応になる事も考えられる。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	130
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	公民館運営事業			
	担当部署名	中央公民館			
	款項目及び予算名	9款5項4目 公民館費、9款5項5目 視聴覚ライブラリー費	新市基本計画		
	予算事業名	中央公民館及び視聴覚ライブラリー	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 生涯学習推進事業体制の充実	スマイルプラン		
	施策の方向性	「いつでもどこでも誰もが、生涯にわたり」生涯学習活動に取り組めるよう、公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図ります。			
事業内容等	事業年度	昭和54年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	多様化する市民ニーズに対応した学習機会の提供を行うため、各公民館において、時代の変化や年齢層等に対応した事業や各地域の特性を活かした事業を展開していく。			
	対 象	印西市在住在勤の方			
	根拠法令・関連計画 等	社会教育法・印西市立公民館の設置及び管理に関する条例・印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例・印西市生涯学習まちづくり推進計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	(市内6館) 大人対象事業、子供対象事業・一般教養事業・サークル支援事業等各種事業の拡充及び高等教育機関との連携事業の展開	各種事業の拡充を図り、事業を実施。 今後も市民ニーズを取り入れ、事業を継続して実施する。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					2,498,000	2,498,000
		予算現額					2,498,000	2,498,000
		決算額					1,953,278	1,953,278

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	公民館主催事業	事業(講座)数	目標値	52	52	52	70
			実績値	66	78	89	93
	支援(援助)事業	事業数	目標値	7	7	7	7
			実績値	29	19	18	11
	個人学習支援事業	事業数	目標値	1	1	1	1
			実績値	8	7	6	5
成果指標	公民館主催事業	人数	目標値	4,000	4,000	4,300	4,300
			実績値	10,334	7,209	6,114	5,103
	支援(援助)事業	人数	目標値	120,000	120,000	123,000	123,000
			実績値	242,916	229,791	221,916	232,998
	個人学習支援事業	人数	目標値	5,800	5,800	6,000	6,000
			実績値	8,506	5,412	6,712	4,508

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、事業の効果や有効性等について評価検証を行い、市民満足度の向上を図っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	131
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	図書館運営事業			
	担当部署名	図書館 奉仕班			
	款項目及び予算名	9款5項6目 図書館費	新市基本計画		
	予算事業名	図書館運営事務に要する経費、図書館資料の整備に要する経費	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 2 生涯学習推進体制の充実	スマイルプラン		
	施策の方向性	「いつでもどこでも誰もが、生涯にわたり」生涯学習活動に取り組めるよう、公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。			
事業内容等	事業年度	平成4年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進するため、市民ニーズに対応した利用しやすい図書館づくりに向け、市内6館(大森・小倉台・小林・そうふけ・印旛・本埜)の図書館の資料整備や機能の向上、レファレンス対応の強化等を図る。			
	対 象	市民(利用者)			
	根拠法令・関連計画 等	図書館法、印西市立図書館設置条例、同条例施行規則			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・利用者が必要とする資料やレファレンスに対応する資料の収集・整理及び管理 ・ホームページによる蔵書の公開・予約システムの機能の向上 ・図書館システムの更新作業・運用開始	・利用者が必要とする資料やレファレンスに対応すべく資料の収集・整理を行った。 ・平成28年2月に図書館システムの入れ替えを行い、それに伴い図書館ホームページも一新し、より機能の向上を図ることができた。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					101,795,848	101,795,848
		予算現額					91,990,848	91,990,848
		決算額					90,989,177	90,989,177

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	図書購入	冊	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績値	13,541	12,300	12,052	12,280
	資料予約件数	件	目標値	118,000	118,000	121,540	125,080
			実績値	137,231	116,744	116,814	117,861
	レファレンス件数	件	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	22,395	20,659	20,925	21,444
成果指標	個人貸し出し者数	人	目標値	210,000	210,000	210,000	210,000
			実績値	254,863	246,278	246,523	249,608
	個人貸し出し冊数	冊	目標値	890,000	890,000	890,000	890,000
			実績値	925,050	852,884	833,681	831,620
	個人登録者数	人	目標値	37,000	37,000	37,000	38,000
			実績値	30,654	30,762	30,283	29,919

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、市民ニーズに対応した利用しやすい図書館づくりに向け、図書館の資料整備や機能の向上、システムやホームページの機能の向上、レファレンス対応の強化等を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	132
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	高等教育機関等との連携		
	担当部署名	教育部生涯学習課 生涯学習推進班		
	款項目及び予算名	9款5項1目 社会教育総務費	新市基本計画	○
	予算事業名	生涯学習推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 生涯学習推進体制の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	「いつでもどこでも誰もが、生涯にわたり」生涯学習活動に取り組めるよう、公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者の確保、高等教育機関等との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成22年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	大学や企業等との連携協力した事業の展開をはじめ、社会教育団体、ボランティアなど人材の育成やネットワーク化に努め、学習機会の拡充を図る。		
	対 象	全市民		
	根拠法令・関連計画 等	第二次印西市生涯学習まちづくり推進計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	順天堂大学生涯学習公開講座の実施	「親子でスポーツを体験しよう」をテーマに、コーディネーション、体操教室、陸上教室、サッカー教室の4回の講座を11月8日、15日、22日、29日の日曜日に実施した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					150,000	150,000
		予算現額					150,000	150,000
		決算額					150,000	150,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	順天堂大学生涯学習公開講座	メニュー	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
			目標値				
			実績値				
成果指標	順天堂大学生涯学習公開講座	人	目標値	30	30	30	30
			実績値	43	34	35	39
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	定期的に内容を見直すとともに、引き続き実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	133
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	青少年健全育成事業		
	担当部署名	教育部生涯学習課 生涯学習推進班		
	款項目及び予算名	9款5項2目 青少年対策費	新市基本計画	○
	予算事業名	青少年対策事業活動、青少年相談員運営事業に要する事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 3 青少年の健全育成	スマイルプラン	
	施策の方向性	子どもたちが安全・安心、健やかに成長できるよう、地域における青少年の健全な育成に向けた活動を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成8年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	地域の子どもたちを地域の力を結集して守り育てるために、家庭・学校・地域社会が連携を図り、子ども達が健やかで安全な生活が送れるよう支援する。また、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を再確認し、相互支援、連携、融合を促進するため、各中学校区において地域推進委員会を開催し、地域の特性を踏まえた具体的な活動を計画、実践していく。		
	対 象	市内の子どもたちと地域関係者		
	根拠法令・関連計画 等	第二次印西市生涯学習まちづくり推進計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援	こども110番:年1回、こども110番運営委員会を開催。協力家庭(事業者数)は1,497件。 青少年健全育成大会:関係機関と連携を図り実施した。大会参加者は500名であった。 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の運営支援及び見直しを行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		430,000			2,086,000	2,516,000
		予算現額		430,000			2,086,000	2,516,000
		決算額		430,000			1,880,909	2,310,909

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	こども110番周知・協力依頼回数	件	目標値	3	3	3	3
			実績値	2	1	1	1
	こども110番運営委員会開催数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	1	1	1
	青少年健全育成大会関係機関数	団体	目標値	25	25	25	25
			実績値	21	23	18	18
成果指標	こども110番協力家庭数の推移	件	目標値	1,565	1,570	1,575	1,580
			実績値	1,517	1,574	1,543	1,497
	青少年健全育成大会参加者数	人	目標値	400	400	400	400
			実績値	500	500	550	500
	さわやかコミュニティ地区推進事業参加者数	人	目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	こども110番周知・協力依頼回数の減
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	こども110番の依頼方法や運営委員会、さわやかコミュニティ推進事業の内容を見直し、引き続き実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	134
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	家庭教育学級事業		
	担当部署名	教育部生涯学習課 生涯学習推進班		
	款項目及び予算名	9款5項2目 青少年対策費	新市基本計画	
	予算事業名	家庭教育学級事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 3 青少年の健全育成	スマイルプラン	
	施策の方向性	子どもたちが安全・安心、健やかに成長できるよう、地域における青少年の健全な育成に向けた活動を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和48年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	現代社会における子育て支援の充実を図るとともに、家庭の教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設し、講座を展開する。		
	対 象	市内公立幼稚園・小中学校保護者、市内家庭教育有志者		
	根拠法令・関連計画 等	社会教育法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	講座の開催 ・必修 32学級 ・学年 25学級	幼・小・中学校の初年度の保護者を対象とした必修学級を33学級、2年生以上の自主運営の学年学級を19学級開設した。各学級年間7～8回の学習会を開催し、3,572人参加した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					2,644,000	2,644,000
		予算現額					2,638,000	2,638,000
		決算額					2,581,585	2,581,585

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	家庭教育学級学級生	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,331	1,451	1,405	1,329
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	200	200	200	200
			実績値	215	232	239	247
			目標値				
			実績値				
成果指標	家庭教育学級修了生	人	目標値	590	590	595	600
			実績値	496	513	478	514
	講座参加者総数	人	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700
			実績値	3,416	3,537	3,692	3,572
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	家庭の教育力向上における重要な事業であり、引き続き実施して行く。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	135
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	生涯スポーツ振興事業			
	担当部署名	教育部スポーツ振興課 振興班			
	款項目及び予算名	9款6項1目 体育振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	各種スポーツ・レクリエーション大会に要する経費、印旛郡市民体育大会に要する経費	主要事業	○	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 4 スポーツ環境の整備・充実	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	子どもから高齢者までの市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動に親しみ、体力向上や健康の保持・増進を図っていきけるよう、スポーツ・レクリエーションに参加しやすい環境の整備や充実を進め、スポーツ人口の増大を図っていきます。			
事業内容等	事業年度				
	事業の実施目的及び概要	スポーツ大会及び教室を、スポーツ関係団体と連携し継続的に開催することにより、競技力向上の促進及びスポーツ人口の拡大を図る。 市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心や取り組む機会の充実が図られるよう、トップスポーツイベントの開催誘致に努める。			
	対 象	市民			
	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・スポーツ教室の推進 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・市民スポーツ大会の支援 ・健康・体力づくり教室の開催 ・クライミング教室・大会の実施	計画通りに大会等を開催することができた(市民大会48回、ニュースポーツ大会2回、ニュースポーツ教室9回、スキー教室1回、クライミング教室10回、クライミング認定会5回、リズム体操教室30回、ソフトエアロビクス教室30回、ヨガ教室30回、パークゴルフ教室1回、アスリート教室2回)		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				900,000	6,594,800	7,494,800
		予算現額				900,000	6,594,800	7,494,800
		決算額				1,534,000	5,391,825	6,925,825

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市民大会(19種目)	回	目標値	35	35	35	35
			実績値	42	45	49	48
	スポーツ教室	回	目標値	20	20	20	20
			実績値	18	65	118	118
	ニュースポーツ大会(春・秋)	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
成果指標	市民大会参加者数	人	目標値	6,000	6,500	6,800	7,000
			実績値	7,812	8,601	8,948	8,248
	スポーツ教室参加者数	人	目標値	600	600	650	650
			実績値	455	2,711	3,078	3,487
	ニュースポーツ大会参加者数	人	目標値	100	130	150	150
			実績値	151	89	56	87

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、市民が気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ教室などを開催していくとともに、各種団体と連携を図り、市民大会や教室参加者数の増加に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	136
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	スポーツ・レクリエーション施設整備事業	
	担当部署名	教育部スポーツ振興課 施設管理班	
	款項目及び予算名	9款6項2目 体育振興費	新市基本計画
	予算事業名	非常勤職員に要する経費、社会体育施設維持管理に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 4 スポーツ環境の整備・充実	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	子どもから高齢者までの市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動に親しみ、体力向上や健康の保持・増進を図っていけるよう、スポーツ・レクリエーションに参加しやすい環境の整備や充実に努め、スポーツ人口の増大を図っていきます。	
事業内容等	事業年度		
	事業の実施目的及び概要	市民が快適にスポーツ活動ができるよう、継続的にスポーツ施設環境の維持管理に努める。 また、クライミングウォール(練習用)を整備し、身近なスポーツとして親しんでもらい、併せて千葉国体やクライミングワールドカップを開催したクライミング競技の普及振興と施設の整備に努める。 印旛高校跡地グラウンド等を整備し、市民スポーツ活動の充実に努める。	
	対 象	スポーツ施設を利用する市民及びスポーツ団体	
	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法、スポーツ振興基本計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・スポーツ施設の維持管理 ・スポーツ施設の改善検討 ・松山下公園の情報、交流拠点の整備 ・クライミング施設の整備検討 ・パークゴルフ場運営	市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう日々の整備、修繕に努め、施設環境を整えた。 施設管理作業員を任用し、施設の維持管理を充実させた。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				540,000	49,432,000	49,972,000
		予算現額				540,000	45,279,200	45,819,200
		決算額				487,080	42,439,122	42,926,202

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	スポーツ施設管理(16施設を月1回整備)	回	目標値	192	192	192	192
			実績値	192	192	192	192
	予約システム運用(加入者延べ人数)	人	目標値	3,400	3,600	3,800	4,000
			実績値	3,435	3,253	2,964	3,174
			目標値				
			実績値				
成果指標	施設利用者の数(施設全体)	人	目標値	320,000	330,000	340,000	350,000
			実績値	298,010	294,194	354,216	411,427
	施設利用率(土・日・祝)	%	目標値	55	56	58	60
			実績値	63	64	61	67
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう施設の整備、修繕を行い、施設環境の充実に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	137
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	体育施設利用促進事業		
	担当部署名	教育部スポーツ振興課 振興班		
	款項目及び予算名	9款6項2目 体育振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	非常勤職員に要する経費、学校体育施設開放事業、学校プール開放事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 4 スポーツ環境の整備・充実	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	子どもから高齢者までの市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動に親しみ、体力向上や健康の保持・増進を図っていきけるよう、スポーツ・レクリエーションに参加しやすい環境の整備や充実に努め、スポーツ人口の増大を図っていきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として、学校体育施設の利用促進に努める。また、夏季休業中に学校プールを市民(小学生以上)に開放し、健康と体力増進に努める。		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・学校体育施設開放事業 ・利用規定看板 ・備品等の整備 ・学校プール開放事業	市内小中学校30校において、円滑な学校体育施設の開放に努めた。利用団体には消防署の協力を得て、AEDの使用講習を行い、安全管理に努めた。 また、委託業者の運営により、市内8校の小学校で、地域団体の主体的な運営により、本塾第一小、本塾第二小及び滝野小で夏季休業中の学校プール開放を実施した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					12,669,000	12,669,000
		予算現額					11,849,200	11,849,200
		決算額					10,923,620	10,923,620

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	学校体育施設開放運営委員会	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
	学校体育施設開放校数	校	目標値	29	29	29	30
			実績値	29	29	29	30
			目標値				
			実績値				
成果指標	学校体育施設稼働率	%	目標値	86	88	90	90
			実績値	87	89	87	90
	学校体育施設開放団体登録数	団体	目標値	200	210	220	230
			実績値	191	184	180	180
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、地域スポーツ団体の活動拠点である学校体育施設の円滑な開放に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	138
1. 事業の概要					
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	スポーツ団体と指導者の育成			
	担当部署名	教育部スポーツ振興課 振興班			
	款項目及び予算名	9款6項2目 体育振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	スポーツ指導者育成に要する経費、各種スポーツ・レクリエーション大会に要する経費	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 5 スポーツ推進体制の充実	スマイルプラン	スマイル3	
	施策の方向性	市民のスポーツ活動を支える多様な人材や団体を育成・支援していくとともに、組織作りや拠点づくりなど市民、団体、行政等が連携・協働できる体制の整備を進め、スポーツにおける競技力や指導力の向上を図っていきます。			
事業内容等	事業年度	昭和32年5月1日(体育協会発足)			
	事業の実施目的及び概要	市体育協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援することにより、競技力の向上及び指導体制の強化を図り、より一層のスポーツ団体の自立化を目指す。			
	対 象	スポーツ諸団体で活動する市民			
	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法			
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・専門的指導者等の活用支援 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・生涯スポーツ等指導者の育成		市体育協会、市スポーツ少年団などへの活動を支援するとともに、スポーツ推進委員がニュースポーツの普及活動を行った。 また、一般市民を対象にスポーツ医学セミナーを開催した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					10,303,200	10,303,200
		予算現額					10,303,200	10,303,200
		決算額					10,066,938	10,066,938

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	スポーツ推進委員講師派遣数・出前講座は件数	回	目標値	30	30	30	30
			実績値	14	14	9	13
	既存団体会員数	人	目標値	4,300	4,500	4,800	5,000
			実績値	4,011	3,845	3,746	3,747
			目標値				
			実績値				
成果指標	スポーツ新規団体数	団体	目標値	5	5	5	5
			実績値	0	1	1	0
	県民体育大会出場種目数	種目	目標値	20	20	20	20
			実績値	12	16	15	21
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	実情に即した取り組みを検討する必要がある。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	関係団体等との連携・協力、また、実情等に即した支援を検討する必要がある。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	活動指標及び成果指標の達成に向け、取り組みの内容や連携・協力の方法等、検討する必要がある。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	実情を把握し、取組等について検討する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	139
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	総合型地域スポーツクラブへの支援		
	担当部署名	教育部スポーツ振興課 振興班		
	款項目及び予算名	9款6項2目 体育振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	スポーツ指導者育成に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 5 スポーツ推進体制の充実	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	市民のスポーツ活動を支える多様な人材や団体を育成・支援していくとともに、組織づくりや拠点づくりなど市民、団体、行政等が連携・協働できる体制の整備を進め、スポーツにおける競技力や指導力の向上を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成12年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	各地域の子どもから高齢者まで、地域においてスポーツの日常化や世代間の交流が図れるよう、スポーツクラブの設立・育成を支援する。		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・総合型地域スポーツクラブの設立・支援 ・市民への啓発活動の推進	総合型スポーツクラブへの支援を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	個別目標の達成に向けた取り組み (検討会の開催)	件	目標値	3	3	3	3
			実績値	2	0	0	0
	説明会の開催	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	2	0	0	0
			目標値				
			実績値				
成果指標	総合型地域スポーツクラブの設立	団体	目標値	1	1	1	2
			実績値	0	0	0	0
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	E 活動なし	取り組みなった事由等を検証し、実情等に即した取り組みを行う必要がある。
成果に対する評価	E 成果なし	取り組みなかった事由等を検証し、関係団体等との連携・協力、また、実情等に即した取り組みを行う必要がある。
総合的な評価	E 事業実績・成果なし	活動指標及び成果指標の達成に向け、取り組みの内容や関係団体等との連携・協力の方法を検討する必要がある。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	他市町の取り組みを参考にしながら、当市として総合型地域スポーツクラブへの支援等について、検討を行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1.事業の概要				事業番号	140
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	文化芸術活動の支援			
	担当部署名	教育部生涯学習課 文化班			
	款項目及び予算名	9款5項3目 文化振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	文化振興活動に要する経費	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 1 文化・芸術活動の推進	スマイルプラン		
	施策の方向性	市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりを推進していくとともに、市民の自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、豊かな心や地域に対する愛着心を醸成していきます。			
事業内容等	事業年度				
	事業の実施目的及び概要	一人ひとりが生きがいを感じ、生活を豊かで快適なものにしていくため、市民による自発的な芸術文化の活動を支援する。 また、市民による自主的な文化芸術活動の活性化を図り、文化団体の自立した運営の支援、次世代の育成や他分野との交流等、より創造的な活動の促進を目指していく。			
	対 象	市民、文化ホール等施設利用団体、地域活動団体			
	根拠法令・関連計画 等	文化芸術振興基本法			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・市民文化祭の開催 ・芸術文化団体及び共催・後援行事への支援 ・企業等との芸術文化振興に関する連携 ・助成金等に関する情報の収集及び提供 ・文化芸術振興計画の検討	・市民文化祭を開催した。展示部門、催し部門はイオンモール千葉ニュータウンで実施し多くの方に印西市民の文化芸術の振興をすることができた。 ・芸術文化団体及び共催・後援行事を支援した。 ・企業等との芸術文化振興に関する連携を図った。 ・助成金等に関する情報の収集及び提供をした。 ・文化芸術振興計画の検討をした。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,362,000	1,362,000
		予算現額					1,362,000	1,362,000
		決算額					1,360,896	1,360,896

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市民文化祭実施	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
	共催・後援事業	事業	目標値	30	30	30	30
			実績値	30	37	27	31
			目標値				
			実績値				
成果指標	文化祭参加者数・入場人数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	4,055	2,518	3,113	5,714
	文化祭作品出展数	点	目標値	400	400	400	400
			実績値	407	305	301	357
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も、文化活動支援のため、継続実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1.事業の概要				事業番号	141
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	文化芸術事業の充実			
	担当部署名	文化ホール 管理事業班			
	款項目及び予算名	文化ホール事業基金	新市基本計画	○	
	予算事業名	文化ホール事業基金繰出金	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - 1 文化・芸術活動の推進	スマイルプラン		
	施策の方向性	市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりを推進していくとともに、市民の自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、豊かな心や地域に対する愛着心を醸成していきます。			
事業内容等	事業年度	平成6年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	市民に芸術文化との出会いの場や鑑賞の機会を提供するとともに、地域の文化レベルの向上を図ることを目的として、市民の自主的な活動を支援し、地域文化の振興や生涯学習の推進を図る。			
	対 象	印西市民を主とする。但し、鑑賞型事業の場合については市外の方も対象とする。			
	根拠法令・関連計画 等	社会教育法、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、印西市文化ホール事業基金条例			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	文化ホール自主事業の実施 ・音楽系(クラシック・ポピュラー) 演劇系(演劇・古典芸能・演芸) 映像系(映画) その他(地域文化振興事業)	自主事業を12事業実施したうち、有料の事業(10事業)の入場者数は3,392人入場率は58%であった。 地域文化振興型事業は1事業の参加者は837人であった。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				20,000,000		20,000,000
		予算現額				20,000,000		20,000,000
		決算額				7,271,554		7,271,554

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	広告等の周知	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
	鑑賞型主催事業	本	目標値	10	10	10	10
			実績値	10	10	12	11
	地域振興型主催事業	本	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
成果指標	文化ホール主催事業数	本	目標値	11	11	11	11
			実績値	11	11	13	12
	文化ホール主催事業来客率	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	66	71	58	66
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	文化・芸術の発信拠点である文化ホールの役割を果たすべく、事業の継続を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	142
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	文化財の保護事業		
	担当部署名	教育部生涯学習課 文化班		
	款項目及び予算名	9款5項3目 文化振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	文化財基礎調査事業	主要事業	○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 文化財の保護・活用	スマイルプラン	
	施策の方向性	先人の残した歴史文化の遺産である文化財の価値や意義を明らかにし、次世代に適切に継承していくため、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護・活用を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成19年度～平成30年度		
	事業の実施目的及び概要	文化財保護及び市史編さんの推進を目的として、文化財基礎調査(仏像調査、社寺建造物調査等)や防災訓練等を実施し、文化財指定など適切な保護に努める。		
	対 象	市内の文化財		
	根拠法令・関連計画 等	文化財保護法、印西市文化財保護条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・仏像調査の実施(本埜・印旛地区) ・石造物調査の実施 ・社寺建造物概要調査の検討 ・無形民俗文化財映像記録作成(鳥見神社の神楽)	・仏像調査は本埜・印旛地区において実施した。 ・石造物調査は ・社寺建造物概要調査の検討した。 ・中根の鳥見神社の神楽について無形民俗文化財映像記録を作成した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					383,000	383,000
		予算現額					383,000	383,000
		決算額					377,458	377,458

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	調査箇所	か所	目標値	5	5	10	10
			実績値	3	4	5	9
	調査対象物	体	目標値	40	40	80	80
			実績値	17	40	45	60
	調査数	遺跡数	目標値	100	100	100	100
			実績値	90	20	215	0
成果指標	市内指定文化財数	件	目標値	48	48	49	50
			実績値	48	49	49	49
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	詳細分布調査は平成26年度に終了した。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も文化財の保護を図るために、事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	143
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	文化財の活用事業	
	担当部署名	教育部生涯学習課 文化班	
	款項目及び予算名	9款5項3目 文化振興費	新市基本計画 ○
	予算事業名	文化財保護調査事業	主要事業 ○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 文化財の保護・活用	スマイルプラン
	施策の方向性	先人の残した歴史文化の遺産である文化財の価値や意義を明らかにし、次世代に適切に継承していくため、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護・活用を進めていきます	
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	市内の重要な遺跡や史跡、有形無形の文化財を後世に適切に継承していくため、地域の歴史や文化を広く公開するなど活用を図っていく。 また、分散している歴史的資料についても保管の集約化に努めるとともに、その活用方法についても検討していく。	
	対 象	小学生から一般まで	
	根拠法令・関連計画 等	文化財保護法、印西市文化財保護条例、道作古墳群整備基本計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・市内遺跡発掘調査(報告書作成を含む) ・道作古墳群整備事業(整備工事) ・道作古墳群活用事業 ・市内史跡整備事業の検討 ・有形・無形文化財の保護に対する補助 ・貝化石分類展示事業の検討	・市内遺跡発掘調査を行い、報告書を刊行した。 ・道作古墳群の整備工事を行い、古墳の見学会を実施した。 ・市内史跡整備事業について、検討を行った。 ・有形・無形文化財の保護に対し、補助を行った。 ・貝化石分類展示事業について、検討を実施した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	1,080,000	256,000			8,728,000	10,064,000
		予算現額	1,080,000	256,000			7,742,000	9,078,000
		決算額	1,080,000	305,000			6,758,759	8,143,759

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	木下貝層の見学会、PR	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
	土地所有者との協議	回	目標値	3	4	2	2
			実績値	5	4	2	2
			目標値				
			実績値				
成果指標	木下貝層見学者数(依頼、連絡のあったもの)	人	目標値	200	200	200	200
			実績値	250	220	200	200
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も文化財の保護を図るために、事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	144
------	-----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	印旛高校跡地歴史資料展示施設整備事業		
	担当部署名	教育部生涯学習課 文化班		
	款項目及び予算名	9款5項3目 文化振興費	新市基本計画	
	予算事業名	印旛高校跡地歴史資料展示施設整備事業	主要事業	○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 文化財の保護・活用	スマイルプラン	
	施策の方向性	先人の残した歴史文化の遺産である文化財の価値や意義を明らかにし、次世代に適切に継承していくため、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護・活用を進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市内の重要な遺跡や史跡、有形無形の文化財を後世に適切に継承していくため、地域の歴史や文化を広く公開するなど活用を図っていく。 また、分散している歴史的資料についても保管の集約化に努めるとともに、その活用方法についても検討していく。		
	対 象			
	根拠法令・関連計画 等	印旛高校跡地活用基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	歴史資料展示施設改修工事	改修工事が完了した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	67,200,000				141,565,000	208,765,000
		予算現額	48,820,000				150,323,826	199,143,826
		決算額	48,820,000				144,634,530	193,454,530

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	用地取得率	%	目標値			100	
			実績値			100	
	工事完了率	%	目標値				100
			実績値				100
			目標値				
			実績値				
成果指標	用地取得率	%	目標値			100	
			実績値			100	
	工事完了率	%	目標値				100
			実績値				100
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
5 終了	歴史資料展示施設の整備が完了したため終了とし、今後は地域史料保存活用事業と統合し事業を実施する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	145
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	歴史民俗資料館運営事業		
	担当部署名	歴史民俗資料館		
	款項目及び予算名	9款5項8目 資料館費	新市基本計画	
	予算事業名	資料館運営委員会に要する経費・資料館施設管理に要する経費・資料館事業活動費・資料館運営事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 2 文化財の保護・活用	スマイルプラン	
	施策の方向性	先人の残した歴史文化の遺産である文化財の価値や意義を明らかにし、次世代に適切に継承していくため、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護・活用を進めていく。		
事業内容等	事業年度	平成21年度から(昭和60年度から)		
	事業の実施目的及び概要	郷土の歴史・文化への関心、理解、知識を深め、次世代に引き継いでいくため、市民の残した歴史資料の収集、整理、調査研究、展示、保存、学習機会の提供等を行う。		
	対 象	市民・印西市の歴史に関心のある者		
	根拠法令・関連計画 等	博物館法・文化財保護法・印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・展示、資料の収集・整理保管・調査研究、普及、情報提供事業の実施	・企画展・資料館講座・体験講座の実施	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					6,139,000	6,139,000
		予算現額					5,381,000	5,381,000
		決算額					4,611,059	4,611,059

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	利用資料数(展示、貸出等)、整理資料数、新規受入資料数	点	目標値	2,110	1,110	610	360
			実績値	3,238	1,268	1,110	502
	開館日数	日	目標値	293	288	288	288
			実績値	288	291	288	293
	企画展・講座・調査等開催数	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	19	10	7	7
成果指標	収蔵資料数		目標値	61,972	65,000	65,200	65,500
			実績値	65,004	65,115	65,201	65,650
	来館者数		目標値	1,750	1,850	1,950	2,050
			実績値	910	1,133	1,095	1,032
	収蔵目録・研究紀要・調査報告書等の刊行		目標値	1	1	1	1
			実績値	0	0	0	1

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	資料の散逸を防ぐため、資料の収集・整理・保管に努めていきたい。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	146
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	市史刊行事業	
	担当部署名	教育部 木下交流の杜歴史資料センター	
	款項目及び予算名	9款5項3目 文化振興費	新市基本計画 ○
	予算事業名	市史刊行事業、市史編さん委員会に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 3 市史編さん事業の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	本市の歴史を後世に伝えていくとともに市史への理解や愛郷心を育むため、古文書や公文書等の調査を行い、地域史料の保存、活用や市史の編さんに取り組んでいきます。	
事業内容等	事業年度	昭和59年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	市の歴史の変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を刊行し、市民の郷土に対する理解と愛郷心の高揚を図る。	
	対 象	市民全般	
	根拠法令・関連計画 等	印西市まちづくり推進計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	- 市史編さん基本方針の推進 - 市史刊行事業の実施 - 市史研究誌刊行 - 歴史ガイドブックの刊行 - 市史講座等の開催	- 市史編さん基本方針を推進 - 市史編さん専門委員編集会議及び専門部会(近現代部会、近世部会、中世部会、原始・古代部会)を開催、調査等を実施。 - 市史研究誌「印西の歴史」第9号を刊行 - 歴史ガイドブックを刊行 - 市史編さん講演会を開催

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					3,845,000	3,845,000
		予算現額					3,845,000	3,845,000
		決算額					2,903,036	2,903,036

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市史編さん委員会の開催回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
	市史編集委員会の開催回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
	市史編さん専門委員専門部会の開催回数	回	目標値	—	4	10	36
			実績値	—	4	9	41
成果指標	市史刊行物の発行数	冊	目標値	1	0	1	2
			実績値	2	1	1	2
	市史講座の受講者数	人	目標値	20	80	80	80
			実績値	185	34	61	50
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	市史編さん事業基本方針に基づき、事業を実施しているので刊行計画に沿って進めていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	147
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域史料保存活用事業	
	担当部署名	教育部 木下交流の杜歴史資料センター	
	款項目及び予算名	9款5項3目 文化振興費	新市基本計画 ○
	予算事業名	資料調査研究に要する経費、資料整理保管に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 3 市史編さん事業の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	本紙の歴史を後世に伝えていくとともに市史への理解や愛郷心を育むため、古文書や公文書等の調査を行い、地域資料の保存、活用や市史の編さんに取り組んでいきます。	
事業内容等	事業年度	平成22年度～平成31年度	
	事業の実施目的及び概要	市民の活動を記録した地域史料を次世代に引き継いでいくため、歴史公文書等の引き継ぎ移管並びに古文書等の調査収集を実施し、適正な保存に努めるとともにその活用を図っていく。	
	対 象	市民全般	
	根拠法令・関連計画 等	公文書管理法・公文書館法・国立公文書館法	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・歴史公文書の引継、整理保管 ・古文書等の調査、整理保管	・廃棄文書のうち歴史公文書の選別収集、引継移管、整理を実施した。 ・古文書等の調査や寄贈、寄託を受けた古文書等の整理・保管を実施した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				250,000	6,029,000	6,279,000
		予算現額				250,000	7,267,174	7,517,174
		決算額				172,150	6,665,722	6,837,872

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	引継文書件数	件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	833	900	1,000	654
			目標値				
			実績値				
成果指標	歴史公文書の閲覧	件	目標値	5	5	5	5
			実績値	5	3	4	5
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も継続して実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	148
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	国際化推進事業		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	○
	予算事業名	国際化推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	4 - - 1 国際化の推進、4 - - 2 多文化共生社会づくりの推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	4 - - 1 国際化の推進 本市の国際化を積極的に推進するため、関係団体や周辺自治体などと協力しあえるネットワークづくりなど推進体制を強化していきます。また、海外の都市との交流も視野に入れ、世界に開かれたまちづくりを進めていきます。 4 - - 2 多文化共生社会づくりの推進 すべての市民が多様な文化や価値観を受け入れ、互いに理解し合いながら、国籍や文化の違いを越えて安心して暮らしていけるまちづくりを進めていくとともに、国際理解教育の推進などにより多文化共生意識を醸成させていただきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	外国人を含めたすべての市民が互いに理解し合い、高め合いながら、ともに暮らすことのできる社会を目指すため、外国人市民が暮らしやすい環境づくりに努めるとともに、日本人市民の国際理解を推進する。		
	対 象	市民(外国籍市民含む)		
	根拠法令・関連計画 等	印西市国際化推進方針		
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果
	平成27年度	・外国人市民への生活情報の提供 ・異文化理解講座の実施 ・幼小中における異文化理解推進事業 ・国際交流協会への活動支援	・外国人市民への行政情報の提供として、広報いんざい11号(抜粋)英語版の発行や多言語翻訳機能搭載の市ホームページ運用等により、言語面に配慮した情報発信ができた。 ・市内の幼稚園や小中学校に通う児童生徒や一般市民を対象に、異文化理解講座を実施し、対象者の国際理解を深めることができた。 ・市国際交流協会事業に補助金を交付することにより、協会活動が円滑に実施され、市の施策を推進することができた。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,060,000	1,060,000
		予算現額					1,040,688	1,040,688
		決算額					870,821	870,821

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	幼・小・中学校の異文化理解講座の開催回数	回	目標値	8	8	8	8
			実績値	7	4	5	4
	市民への異文化理解講座の開催回数	回	目標値	20	20	20	20
			実績値	9	8	6	6
	各種生活情報の外国語版の作成・発行	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	40	90	90	90
成果指標	幼・小・中学校の異文化理解講座の参加者	人	目標値	300	300	300	300
			実績値	749	548	438	409
	異文化理解講座への参加者	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	945	685	543	498
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	引き続き多文化共生社会の推進を図るため、定期的に異文化理解講座を開催するとともに、国際交流協会による日本語教室や交流事業等を支援する。また、講座参加者の増を図るため、講師については、市内在住外国人のほか、県コンベンションビューローにも派遣を依頼し、毎年異なる国について学べるよう工夫に努める。